

郡上農林事務所の普及活動状況 令和5年11月30日現在

今月の重点活動

■夏秋トマト 郡上市農業振興大会において普及活動成果を発表

美並町の「日本まん真ん中センター」で、11月25日に農業関係者・関係団体等を参集し、郡上市農業振興協議会主催の郡上市農業振興大会が開催された。

大会では、講演会、活動事例発表、各農業団体・教育機関等の展示があり、農業普及課からは「新規就農者支援等によるトマト産地の活性化」と題して、トマト栽培研修施設「郡上トマトの学校」への支援、経験の浅い生産者への栽培技術支援、産地の発展に向けた活動支援の取り組みについて、成果と今後の方向などを報告した。

農業普及課では、関係機関と連携しながら、担い手を育成・確保するとともに、産地の活性化を推進し、「持続可能な農業産地づくり」を目指して今後の普及活動に取り組んでいく。



【成果発表の様子】

(農業普及課・松尾尚典)

郡上の農業・農村を支える人材育成

■女性農業経営アドバイザー 第9回農業女子会を開催

八幡町の防災センターで、11月24日に第9回農業女子会が開催された。農業女子会とは、女性農業経営アドバイザー郡上地区会員が企画し、郡上市内の女性農業者の交流を目的としたイベントである。農業普及課は郡上市とともに開催を支援している。

今年は、郡上市の特産である南天を使った「南天ぼんぼん」作り講習会を実施した。講師は、市内で南天を生産している女性農業者で、経営品目が異なる市内の女性農業者29名の参加があり、アドバイザーを中心に会話を楽しみながら交流を深めた。

農業普及課では、今後も女性農業経営アドバイザー郡上地区の活動を支援し、地域女性農業者の活発化に取り組む。



【農業女子会の様子】

(園芸産地支援係・長尾怜奈)

■就農支援 「郡上トマトの学校」で収穫終了後の生育調査を指導

トマトの新規就農研修施設の「郡上トマトの学校」では、令和5年産の収穫が終了した。研修生は11月2日に収穫終了後の生育調査を実施した。この生育調査は、研修生に今年のトマトの状況を振り返らせ、調査結果を基に時期ごとの栽培の問題点、改善点を理解させるために行っている。生育調査は、JA指導者、市営農アドバイザー、普及員が補助し、着果数、茎太、果房間長等を測定した。

農業普及課では、今後もJA指導者、市営農アドバイザーとともに、研修生の技術向上・習得に向けた支援を行う。

(地域支援係・小畑紀雄)



【収穫終了後の生育調査】

安心で身近な「郡上の食」づくり

■夏だいこん 「ぎふ清流GAP」取得に向けた取り組み

ひるがの高原だいこん生産出荷組合では組織で「ぎふ清流GAP」に取り組んでいる。令和5年も1戸の農場で「ぎふ清流GAP」の申請を行い、11月17日に、「ぎふ清流GAP推進センター」の現地審査を受けた。組合では、安全・安心な農産物の提供とひるがの高原だいこんの更なるブランド化、環境に配慮した持続的な産地の育成を目指し、組合員の「ぎふ清流GAP」取得を推進していく。

農業普及課では、組合のGAPに関する取り組み・推進を今後も継続して支援していく。
(園芸産地支援係・神谷直人)



【現地審査の様子】

郡上農畜水産物のブランド展開

■水稲 第9回郡上おいしい米コンテスト開催

「第9回郡上おいしい米コンテスト」が、11月18日に郡上総合庁舎で、表彰式、競売会、技術研修会という内容で開催された。

表彰式では、コンテストに応募があった104点の中から、コシヒカリの部で最優秀賞1名・優秀賞2名・奨励賞7名・地区賞4名、こだわり米の部（コシヒカリ以外の品種）で特別賞2名、小中学校の部は1校が表彰された。

競売会では、市内6事業者が参加してセリが行われ、最優秀賞を受賞した米が1俵、109,000円と高額で落札された。また、技術研修では、「郡上のコメ 現状と次の一手は」という演題で、中山間農業研究所の鍵谷農業革新支援専門員から、おいしい米生産について飛騨地域の取り組みを交えながら講演を頂いた。また話を聞きたいとの意見があり、大変好評であった。

農業普及課では、運営メンバーとして企画から食味分析や広報など全面的に支援しており、今後もこのコンテストを通じて郡上のおいしい米づくりを推進していく。



【おいしい米コンテスト
で表彰された方々】

(地域支援係・鵜飼睦)

■南天 郡上特産「郡上南天」の出荷始まる

郡上八幡南天生産組合(組合員数75名)は、全国有数の南天出荷組織として市場で広く知られている。ここ数年出荷量はやや減少したが、本年は開花時期の天候に比較的恵まれたこともあり、収穫前のは場での着果房調査で、調査を開始した6年間で2番目の出来となっており豊作が期待されている。出荷初めの11月30日には、郡上各地域から出荷があり、ここからわずか10日余りの間に10tを超える南天が関西市場を中心に出荷される見込みである。

農業普及課では、生産者募集や技術指導を通して、郡上市の特産物である南天産地の維持発展に向けた支援を続けていく。



【収穫予測調査】

(園芸産地支援係・各務慎治)